

きずな

どうあいさつ

サービス管理責任者

中山 加代

この度、平成30年4月1日付で、社会福祉法人賀光会ポプラのサービス管理責任者を拝命いたしました。以前は、ポプラの支援員として、利用者の皆さんと一緒に活動してまいりました。これからは、サービス管理責任者として、今までとは違った角度から、ポプラの利用者の方々の支援を行っていききたいと思っていますので、よろしくお願ひ致します。

さて、当法人はその理念を「その人らしい幸せづくりを支援します」という言葉で表現しています。入

職してから、「本当の意味での、その人らしい幸せと

は一体何か?」と、ことあるごとに、立ち止まり、考えてまいりました。利用者の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、皆様にたすくさ



ん助けていただき、教えていただいています。まだまだ経験が浅く、これからいろいろな皆様を助けていただくと思いますが、「その人らしい幸せづくり」のお手伝いができる施設づくりを行ってまいりますので、よろしくお願ひ致します。

平成30年 第54号
社会福祉法人 賀光会
救護施設 賀光寮
障害福祉サービス事業所
(生活介護) ポプラ
発行人: 川端 健高
藤井寺市藤井寺4-11-8
TEL 072-955-0653
FAX 072-955-0905
E-mail: gakoukai@m5kcn.ne.jp
<http://www5kcn.ne.jp/gakoukai>

バーベキュー 〜賀光会一大行事!!〜

支援員 岸 瑞記

初夏の風に肌も汗ばむようになってきた6月1日、賀光会の一大行事であるバーベキューを行いました。当日は、梅雨入りにもかかわらず晴天となりました。バーベキューをとっても楽しみにしていた利用者の皆様の思いが天に通じたのでしよう。

例年と同じく、多くの利用者の方々が今回もいろいろと協力して下さり、とてもスムーズにバーベキューの調理コンロや食事席のセッティングができました。準備が完了し、いよいよバーベキューの開始で、炭

をおこし、焼き網をセットし、肉と野菜を焼き始めました。11時頃には、食欲をそそる焼肉の匂いが正面玄関に漂いました。

食事が始まり、ポプラ、賀光寮の利用者の皆さんは、ロース、バラ、ハラミ、ミノ、テッチャン、ウインナーなどの肉、野菜炒め、ジャガバター、おにぎりの中から、それぞれに思い思いに選択し、お腹いっぱい食べられていました。

バーベキューの終了後に、利用者の方々に感想を伺うと焼肉が美味しかったです。「今日は腹いっぱい肉食いましたわ。」(寄り



食欲をそそるお肉の匂いがしてきた〜♪



肉はうまい!! 米もうまい!! 野菜もうまい!!

附でいただいた、魚沼産こしひかりを使つてにぎつた)おにぎりがおいしかったです。」と満足げな声が返ってきました。

今回は、前回のバーベキューの実施日より1カ月早めて行いました。6月初旬に開始したこともあつてか、まだ暑さが本格的になつてなかつたため、焼き役の職員や手伝いの利用者の方々が体調不良になることなく無事に、終えることが出来ました。

次回のバーベキューも、利用者の方々においしく、楽しく食事していただけるよう企画していきます。

【救護施設 賀光寮】

・平成30年度賀光寮事業計画骨子

社会福祉法人制度改革が進む中、組織運営のガバナンスの強化等とともに、地域における公益的な取り組みを積極的にすすめる、より一層に社会に信頼される「賀光寮」を目指します。

社会貢献に積極的、継続的に取り組むため、藤井寺市社会福祉施設連絡会及び大阪府社会福祉協議会の「大阪しあわせネットワーク」の一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援を行ってまいります。その一環として中間的就労等の事業を実施します。また、地域の保育所、小学校、こども会、自治会等への陶芸教室の実施協力、高齢核家族等への環境整備等の地域に向けての貢献活動を継続します。

利用者支援においては、法人の理念、基本方針に基づき、利用者主体の質の高い総合的な福祉サービスの提供と作業科やクラブ活動の活性化に努めてまいります。

法人の理念、基本方針に基づき次の5項目を賀光寮の運営方針とします。

〈運営方針〉

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 法令遵守
- III 専門性の向上
- IV 経営の安定・透明化
- V 地域共生と啓発

総合的な福祉サービスを提供するため、利用者主体で本人の意向と個々の障害特性や医療情報等に基づいて作成された個別支援計画を職員間で共有し、統一された支援を効果的に行います。

作業支援では、昨年度に農園芸科環境整備部が始まり、施設の美化やレクレーションの充実等を目的とした敷地内の樹木の剪定や除草、土木修繕等を行いません。また、地域に貢献できる作業として、高齢核家族のお宅から依頼を受け、庭木の伐採・剪定などを行います。ライトワーク科は、軽作業科の名称を改めたもので、



体力的に自信のない利用者の方にも参加の機会が提供されるよう配慮し、内職的な作業を行います。

クラブ活動については、28年度から行われている「七宝」に加え、「書道」等について利用者の希望を基に検討し、順次実施いたします。居宅生活訓練事業と保護施設通所事業では、利用者の地域移行を促進し、地域での自立生活を支援します。

法令遵守では、個人情報保護規定に基づ

き適切に取り扱います。身体拘束・虐待が生じることがないよう職員行動規範に基づいた安心・安全なサービス提供に努めます。



専門性の向上について、職員が事業目的を明確に理解し、サービスの質の向上を図るため、顧客満足度調査及び施設の自己評価、法人理念と職員倫理綱領に関する職員の自己チェックを実施します。

経営の安定、透明化を目的に、経営と施設情報は積極的に公開、発信を行います。

また、地域貢献、地域交流については、毎年恒例の「南藤井寺ふれあい祭り」には地域の一員として



企画段階から参加します。併せて賀光会バザール、餅つき大会、地域のこども園や小学校等の陶芸教室、環境整備科作業による地域貢献についても、法人の特質を生かした活動・交流・広報を行います。

支援課長 三宅 重樹

生活介護ポプラ

平成30年度ポプラ事業計画骨子

「ポプラ」は指定生活介護事業所になって9年目になります。これまで、「楽しい時間が過ごせるプログラムの設定」や、個別支援計画に基づくサービスの提供を基本姿勢とし、サービスの質の向上及び職員の資質向上を図ってきました。

法人の理念、基本方針に基づき、利用者の個性を尊重し、利用者と職員それぞれが自分自身を磨き、一人ひとりが輝き潤いのある生活を実現できるように、日中活動の充実と安定した経営を第一の課題として、質の高いサービス提供と事業運営に努めてまいります。

社会福祉法人制度改革がすすむ中、組織運営のガバナンスの向上等とともに、地域における公益的な取り組みを積極的にすすめる、実践を確実に重ね、地域に貢献していく必要があります。社会貢献に積極的、継続的に取り組むため、藤井寺市社会福祉施設連絡会、大阪府社会福祉協議会の、大阪しあわせネットワークの一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援を行うとともに、中間的就労事業を、賀光寮と協働して行



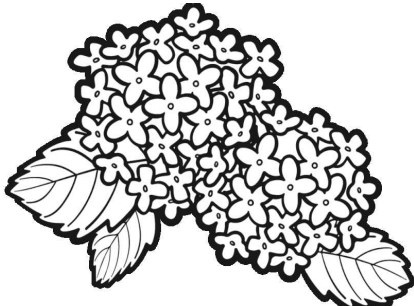
てまいります。

法人の理念、基本方針に基づき、安心・安全・安定した質の高いサービス提供を行うため、次のことをポプラの運営方針とします。
 〈運営方針〉

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 喜びを実感できる生活の実現
- III 安心・安全な支援と管理
- IV 専門性の向上
- V 経営の安定・透明化
- VI 地域共生と情報発信

運営方針に基づき質の高い利用者本位の総合的なサービス提供をめざすため、利用者の同意に基づいて作成した個別支援計画を基に①生産活動、②創作的活動、③社会体験、④レクリエーション、⑤生活相談、⑥作業療法などのプログラムの提供と支援を行います。

喜びを実感できる生活の実現のため、生産活動は、利用者の働く喜びを実感できるように、社会との接点となり、自己実現の機会となるよう創意工夫します。また、社会体験を生活支援の一環として位置づけ、生活の幅を広げていただけるように、情報の提供を行います。日常と違った変化のある行事



や活動をとおして、色々な場面で違った角度から支援することによって、より深い利用者の理解につなげ、支援の質を高めることをめざします。

レクリエーションを生活支援の一環として位置づけ、日常と違った変化のある行事や活動をとおして、色々な場面で違った角度から支援することでも、利用者の理解を深め、支援の質を高めることをめざします。プログラムについては、趣味や興味を取り入れた楽しみのあるものを提供できるように、利用者自治会の意見を取り入れて策定いたします。

地域の一員として、地域住民の方々との交流を促進するとともに地域福祉の向上を図ります。具体的には、賀光会バザールの開催、地域と協働したもちつき大会の実施、「パール&社協フェスタ」藤井寺市社会福祉協議会主催、「南藤井寺ふれあい祭り」南藤井寺地区主催等の地域の行事に参加し、藤井寺市社会福祉連絡会や地元町会と連携し、法人の特質を生かした地域交流を行っていきます。



サービス管理責任者

中山 加代

万博公園 桜と太陽の塔は幻想的!!

主任 森川 大輔

今年は、桜の開花時期が例年より1週間程早く、桜が散つてしまわないか、とても心配でした。賀光寮では、毎年4月上旬に花見を行つていますが、今年は4月2日に万博公園コース、

4月3日に石川河川敷コースの遠方と近場の2種類のコースを例年より早く予定しました。

行き先について、毎年、利用者アンケートを実施し、10箇所程の候補の中から行き先を選んでいただいています。

万博公園への花見を希望する利用者が最多で、3



きれいな桜の並木道で!!



お弁当うまい!! 最高一!!

年連続で万博公園での花見となりました。

万博に到着すると、やはり一番初めに目に飛び込んでくるのは太陽の塔です。今年は少し散り始めていましたが、桜吹雪がとても綺麗でした。ピンクの桜並木の間から見える太陽の塔はとても幻想的で、この時期しか味わうことのできない景色だと感じられました。

また、今年からは48年ぶりに太陽の塔の内部が、完全予約ですが一般公開されるようになったので、来年も花見の行き先として万博が選ばれれば、花見だけでなく、是非内部の見学も企画してみたいと考えています。

平日にもかかわらず、多くの人が訪れていましたので、お弁当のシートを引く場所も、桜の木陰はいつぱいでした。花より団子というわけではありませんが、やはり、花見の醍醐味はお弁当です。太陽の塔が見える広場で、それぞれの方が前もってリクエストしたお弁当を楽しみました。

四天王寺大学 桜が舞う大学!!

支援員 柏木 和紀

4月4日(水)に花見でこの時期に開放されている四天王寺大学へ行きましました。今年は、温暖な気候もあつて桜の開花が例年より早く、桜が散つてしま

つているかどうか心配しています。利用者の方々も桜あるかなあ、散つてしまつてないだろうか」と心配されていました。

四天王寺大学へ着くと、桜は、少し散つていますが、まだまだきれいに咲

た。特に豪華なステーキ弁当が人気でした。今回、私は、初めて万博公園の花見に同行しましたが、多くの人で賑わい、お祭りさながらで楽しい雰囲気だったので、毎年選ばれる理由がわかったよ

うな気がします。また、来年も万博公園に花見に来たい!と思いました。



1本桜の前で、ハイチーズ!!

いていました。四天王寺大学の正門をくぐると、桜並木が!そこを通ると、桜がひらひらと舞い、利用者の頭の上のつた花びらを楽しんだり、またひらひらと舞っている花びらを手にとり、楽しんでいます。それに取ったりして楽しませました。その後は、四天王寺大学の食堂でおやつを食べたり、ジュースを

編集後記

今回の「きずな」第54号は、賀光寮・ポプラの事業計画と花見の行事の記事を掲載しました。

今年、ロシアで、サッカーのW杯が開催されています。6月14日(木)からグループ予選が始まりました。日本は、グループHで、対戦相手のポーランド・セネガル・コロンビアは、FIFAランクでは、日本よりも上です。前回のブラジルW杯では、グループリーグ敗退となりましたので、今年は頑張っていたきたいと思います。

次回「きずな」は、賀光寮・ポプラの事業報告を中心に掲載させていただきます。